

西宮市議会議員

たかの しん

政党無所属・32才

- ◆苦楽園小・苦楽園中・関学高・関学大（法）卒業
- ◆元・阪急不動産（株）/ 阪急阪神不動産（株）勤務

f たかの しん tukanostyle tukanostyle
🌐 <https://takanoshin.jp> 🔍 たかのしん



◆生徒自身の手で、校則の積極的な見直しを！

自分たちのルールを自分たちで考える。生徒主体の見直しに向けて教育委員会の支援を求めました。

■校則問題への関心が高まっています。

近年「地毛にもかかわらず髪を強制的に黒染めさせる」「女子生徒の下着の色を男性教師がチェックする」等、生徒の人権侵害につながる「ブラック校則」が全国的に問題視されています。また、特定の髪型を禁止する等、意義や目的が不明瞭な校則も相次いで報告されました。こうした背景から校則の見直しに取り組む自治体・学校が増加しています。このたび私は市立中学校全校※の校則を調査し、課題を以下の5つに整理した上で、本会議において教育委員会の姿勢を質しました。

※西宮浜義務教育学校（後期課程）を含む

■校則見直し、5つの視点。

①ルールの不開示

市立中学校等において、ホームページで校則を公開しているのは、20校中わずか9校（9月1日時点）。生徒・保護者からは「学校から校則の説明を受けたことが無い」「知らないうちにルールが変わっていた」等の声も。まずは同じ情報をベースに議論できる環境を整えるべき。

②曖昧な規定の存在

「中学生らしい」「長すぎない」「華美でない」「おしゃれ目的」等、曖昧な表現が多く用いられている。教師の恣意的な解釈を招き過度な指導につながる恐れがあることから、具体的な指導の根拠となる規定には、明確な判断基準を置くべき。シャツ類を想定した「下着は単色無地」との規定が見られるが、「シャツは」と対象を限定するべき。

③合理性を欠く規定の存在

一部の学校が禁止しているツーブロック・おだんご等の髪型や、登下校時の防寒着着用については、制限する合理的な理由が見当たらない。靴・靴下の色は白基調としている中学校が多いが、他の色を認めている学校も。学校外での生活を過度に規制する校則にも問題があり、見直すべき。

④過度な学校指定

学校生活に必要な制服や学用品の多くは商品や購入先を指定されているが、複数の店舗で販売している市販品の方が、購入は容易で安価な場合が多い。指定品には水着・ナップサック等、使用頻度が少ないものも。学校指定の対象を減らすべき。

⑤変更規定の欠如

各種団体の会則・規約等と異なり、校則には規定を変更するための具体的な方法が規定されていない。校則も集団生活における重要なルールである以上、変更に向けた手続を明示するべき。

■生徒が主体的に関わる仕組み作りを！

校則の見直しには、実際に学校生活を送る生徒の声を反映することが欠かせません。自分たちを取り巻くルールについて主体的に考えることは、学びの機会としても非常に有意義です。市内では既に生徒主導での見直しを実現した事例もあり、より多くの学校での取り組みが期待されます。私の指摘に対し、教育委員会は見直しの重要性を認め、状況把握や支援に取り組む考えを示しました。

◆滞納金の解消に向けた具体策を提案しています！

多額の滞納金は、本市が抱える大きな課題。早期の解消を進め、公平・公正な行政を目指します。

■多額の滞納金が発生しています。

市税・保険料・市営住宅家賃・保育料等の滞納額は、2021年度決算で約42.7億円。多くの市民が納付の義務を果たしている中で、資力があるにもかかわらず納めない悪質な滞納者の存在は、公平性の観点から大きな問題があります。厳しい財政状況の中で市は確実に歳入を得る必要があります。滞納金の徴収を強力に進めなければなりません。私は継続してこの問題に取り組んでおり、以下の改善策を実施するよう本会議で求めました。

■滞納整理の手順を統一するべきです。

市は2021度に「標準的な債権管理事務モデル」を本格導入し、滞納整理の統一的な手法を示しました。しかしながら、モデルで「遅くとも督促状発送時期にあわせて実施」とされている電話催告を一定期間が経過するまで行っていない部署や、督促状を一部の債権者にしか発送していない部署が存在しています。債権回収の鍵は滞納発生の初期段階で迅速に働きかけを行うことであり、モデルに基づいた対応を各部署に徹底させるべきです。

■口座振替促進の一元化を！

滞納の発生を未然に防ぐ観点からは、口座振替の推奨も重要です。口座振替では自動引き落としを行うために、まず市民の保有している口座を登録してもらう必要があります。ところが、本市では債権によって登録可能な金融機関が大きく異なり、中にはごく少数の金融機関にしか対応していない場合もあります。対応可能な金融機関数の増加は口座振替の促進に大きく寄与することから、早急に拡大を図るべきです。そのために現在、部署ごとに実施しているシステムの構築や金融機関との折衝は、全庁で一元的に管理するべきです。

◆口座振替に対応可能な金融機関数

債権	金融機関数
市税・保険料	26機関（都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合等）
学校給食費	14機関（都市銀行、地方銀行、信用金庫等）
公民館使用料	5機関（都市銀行、信用金庫等）
駐車場使用料	2機関（都市銀行等）

これらの指摘に対し、市は滞納整理や公金収納の実務について具体的な改善に取り組む考えを示しました。今後も必要な提言を続けてまいります。

市立中央病院跡地の活用方針が公表されました！

市立中央病院と県立西宮病院は2025年度に統合し、新病院が開院する予定です。閉院する中央病院の跡地（林田町）について、このたび活用方針が示されました。約12,000㎡に及ぶ敷地のうち約7,000㎡は、医療機関を中心とした民間活用ゾーンに。約3,000㎡は、特別養護老人ホームと養護老人ホームを整備する高齢者福祉ゾーンに。約2,000㎡は、保育所等・放課後児童クラブ・病児保育・子育てひろばを一体的に整備する子育て関連施設ゾーンに。本計画により市が一定の地代収入を得ながら、地域の行政需要に幅広く応えることが期待されます。今後も統合や跡地活用の状況を注意深く見守ってまいります。



たかのしんの政策、着実に進行中！

前回の市政報告第13号で主張した満池谷火葬場の申込受付時間延長については、9月議会で「WEBシステムの導入を基本に24時間受付体制を整備する」との答弁を得て、実現が確実となりました。本件は大きな注目を集め、一般質問翌日の新聞紙面でも取り上げられました。2021年3月議会で取り上げた民生委員の活動環境整備については、活動内容を分かりやすくまとめた広報紙が作成されるなど、欠員解消に向けた取り組みが進められています。今後も具体的な成果にこだわり、提案した政策の進捗状況を注視してまいります。

■PROFILE / 鷹野 伸 (たかの しん)

【お問い合わせ先】 mail@takanoshin.jp / 070-1524-7109

1990（平成2）年3月生まれ。西宮市立苦楽園小学校・苦楽園中学校・関西学院高等部・関西学院大学法学部卒業。大学在学中、「甲東ニューヴェルヴァーグ・ウィンドオーケストラ」を設立（初代代表）、進学塾「関学ゼミナール」講師を務める。2012年、阪急不動産株式会社（現：阪急阪神不動産株式会社）に入社。新築分譲マンション部門にて約6年半勤務。2019年4月の西宮市議会議員選挙にて初当選、現在1期目。行政書士試験合格者、宅地建物取引士。